

ZOO 館

どうぶつ

ホワイトタイガー



ホワイトタイガーはネコ科の動物で、ライオンやヒョウそしてペットのネコも同じ仲間。トラといえば黄色に黒のしま模様が特徴だけど、ごくまれに白色に黒のしま模様の子猫が生まれることがあるんだ。日本では30頭くらいしか飼育されていないトラなんだよ。今回はそんなホワイトタイガーのネコらしい行動や意外な一面に注目しよう！



ネコといえば「ツメとき」だけど、ホワイトタイガーもちゃんとツメときをするよ。毎日ツメをお手入れして、いつでも狩りができるようにするどくしておくんだ。



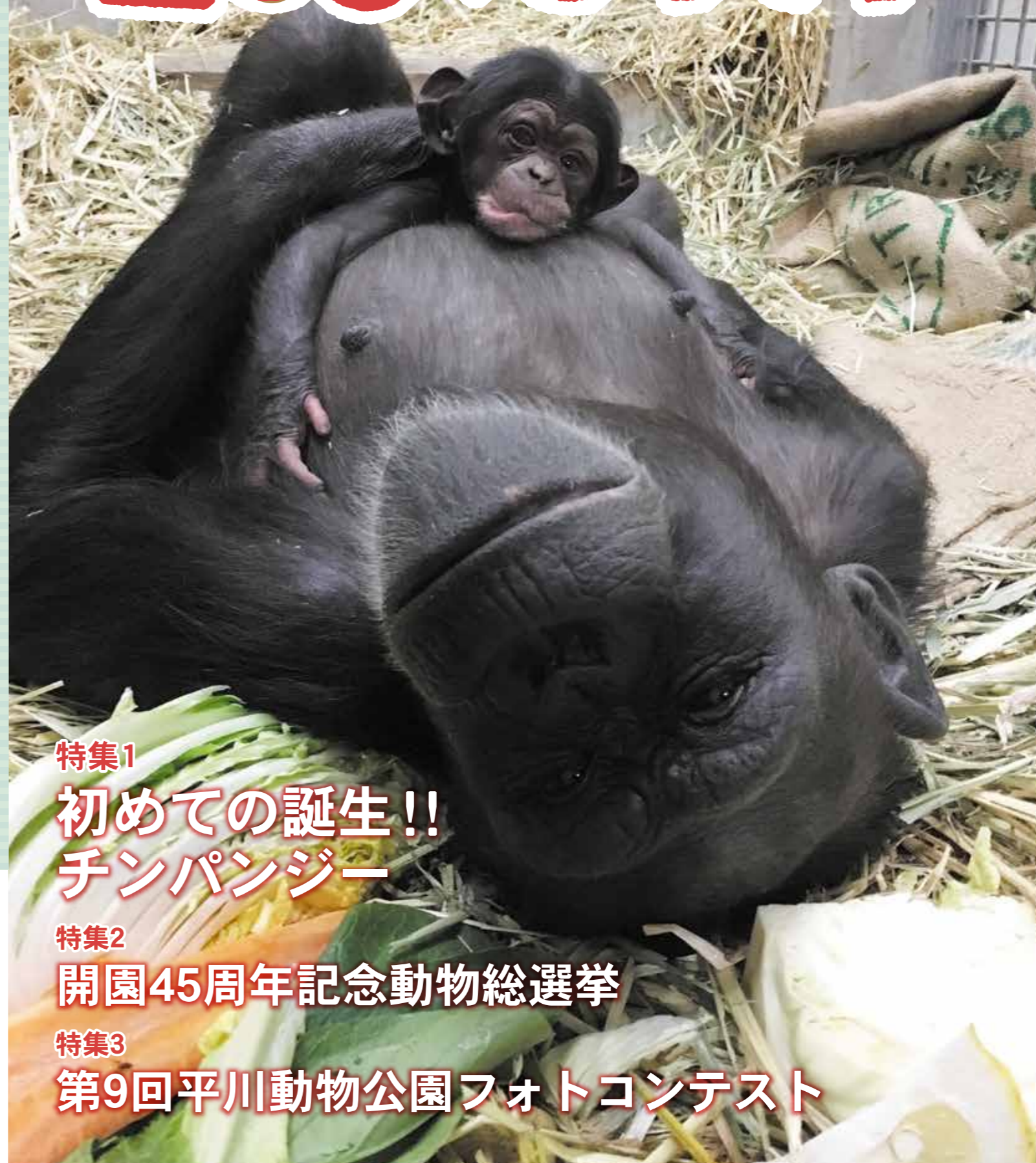
▲木の幹でツメとき

ネコといえば「水が苦手」だけど、ホワイトタイガーは水浴びをするよ。暑い日には池や川の中に入って涼んだり、ときには泳ぐこともあるんだって。



▲水の中でゆったり

ず〜 Zooっと平川



特集1

初めての誕生!! チンパンジー

特集2

開園45周年記念動物総選挙

特集3

第9回平川動物公園フォトコンテスト



鹿児島市 平川動物公園

〒891-0133 鹿児島県鹿児島市平川町5669-1
TEL.099-261-2326 FAX.099-261-2328

■開園時間：午前9時～午後5時(入園は午後4時30分まで)
■休園日：12月29日～1月1日

URL <http://hirakawazoo.jp/>
Facebook <https://ja-jp.facebook.com/hirakawazoo>
Twitter <https://twitter.com/hirakawazoo>

動物取扱業の種別：展示 登録番号：生衛動取 第357号 登録の年月日：H28.5.11
有効期間末日：H33.5.11 動物取扱責任者：桜井普子

携帯サイトへ
アクセス!



編集・発行



〒892-0816 鹿児島市山下町15番1号
TEL.099-221-5055 FAX.099-223-5690
URL <http://k-kouenkousya.jp>
Facebook <https://ja-jp.facebook.com/k.kouenkousya>

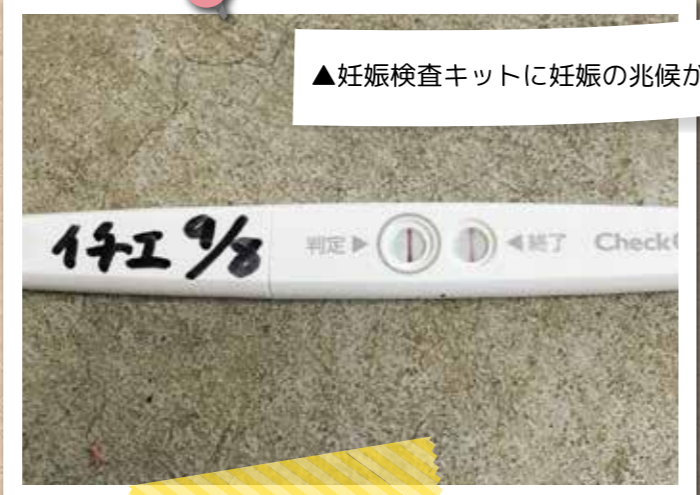
初めての誕生!! チンパンジー

平成29年4月8日の早朝、前身の鴨池動物園も含め、平川動物公園では初めてチンパンジーの赤ちゃんが誕生しました。
平成27年4月にリニューアルしたチンパンジー舎、その年の7月には北九州市にある到津の森公園からイチエの2頭も加わり4頭の群れに、平成28年9月には千葉市動物公園からメスのピータンも加わり飼育頭数は5頭となりました。



▲左からモモ、ケイ、ラルゴ、イチエ

チンパンジーの妊娠が分かったのは、平成28年9月8日のことです。
毎日、性皮(※)の膨張・発情のチェックを行っており、妊娠の可能性があったイチエの尿を採取し妊娠検査を行いました。結果は陽性。チンパンジーは人間に近い生き物ですので、人間の妊娠検査キットで検査することができます。
※性器の周りの皮膚で排卵が近づくとピンク色に大きく腫れます



▲妊娠検査キットに妊娠の兆候が!



▲熊本サンクチュアリ玄関

チンパンジーの妊娠期間は約230日。私たちは、出産予定日を平成29年4月1日としました。(最終発情日を起算日とします)
平川動物公園では初めての出産であり、飼育担当者も出産に関わった経験がなかったため、チンパンジーの出産経験のある園の職員や、熊本県宇城市にある京都大学野生動物研究センター熊本サンクチュアリ(57頭のチンパンジー・6頭のボノボが暮らす施設)の方々にチンパンジーの出産についてレクチャーをしていただきました。
同時に園内でも、獣医、飼育担当者で出産時の対応、もしも人工哺育になったときの対処法などしっかりと準備しました。

チンパンジーが妊娠して子どもが育つ確率は、6割以下です。この厳しい現実もあり、毎日、活発に活動するイチエの姿を見ていて、担当者としてはヒヤヒヤな毎日でした。
初めての出産育児となるイチエには、普段と変わらない環境で出産してほしいと思い、普段通りの生活を維持することに気をつけました。妊娠による影響なのか、昼間からゴロゴロと横になっていることが多くなり、食性にも変化が出てきました。5ヶ月くらいからは、お腹周りが少しずつ大きくなり、赤ちゃんの成長が見てうかがえるようになりました。出産直前にはお腹もパンパンになり、いつ産まれてもおかしくない状態になりました。



▲出産3日前。お腹も大きく膨らんでいます



▲しっかりと抱えています

寝室の準備(敷き藁^{わら}や麻袋の準備)をして監視カメラも設置し、準備万端で予定日を迎えましたが、待てど暮らせど生まれません。そして、1週間後の4月8日の早朝、ついにオスのチンパンジーが誕生しました。
出産はうまくいくか、赤ちゃんを抱いてくれるかという心配をしていましたが、発見したときには、しっかりと赤ちゃんを抱くイチエの姿が確認できました。その後、授乳も確認でき一安心しました。その様子を飼育員だけでなく、他の4頭のチンパンジーもフェンス越しに見ていました。

それから4日後には、到津の森公園からいっしょに来たモモとの同居が始まり、その後、次々に他のチンパンジーとも同居を行い現在に至ります。
モモは赤ちゃんを見せてもらいたい、触りたいという思いでイチエにグルーミングをしていました。他のチンパンジーも初めて見る赤ちゃんに興味津々でした。



▲イチエのご機嫌をとるモモ



5月20日から1ヶ月間、赤ちゃんの名前を募集し、7月2日には『イチロー』と命名されました。
この名前には、平川動物公園で1番初めに産まれたチンパンジーで、1番元気に、1番人気者になって欲しいという願いも込められています。

▲命名者代表のご家族



6ヶ月経つとイチエが食べている物に興味を示しはじめました。初めて口にしていた物はニンジンでした。しかし噛むことはなく、^{あめ}飴のように舐めているような感じでした。

それから少しずつミカン、バナナ、煮イモ、リンゴなどを口にしています。時にはイチエの食べている物を横取りすることもあります。それでもイチエは怒りません。

今では、飼育員の手から煮イモや食パンを受け取るまで成長しています。たくさん食べてすくすくと成長して欲しいものです。

3ヶ月経つ頃には、前歯が生え始めてきました。イチエが食べている物に興味も出はじめ、ニンジンやバナナを口に入れようとする姿も見られるようになりました。



▲前歯が生えました！



食べ物の次は、身の回りのことに興味津々。タワーの上でのブラキエーション(※)が観察できるようになりました。この頃から少しずつイチエから離れ、自ら行動することも多くなりましたが、そばにイチエが付き、片時も離れようとはしません。その理由は、イチローに危険が迫ったとき、サッと手を差し伸べてあげるためです。

10ヶ月経つと、他の大人との関わりも出てきました。

まずはイチエの親友モモが、イチローと遊んでくれるようになり、それを見ていたお父さんのラルゴや友達のケイもイチローと遊んでくれるようになりました。体の小さいイチローに合わせ、力を加減して遊ぶ姿は微笑ましい光景です。

このような経験を通じて、イチローは挨拶やルールなどを学び、群れは子育てを学び、群れの結束は強まります。

※両腕で交互に枝をつかんで移動すること



▲柵上りの練習中

5ヶ月経つころには、柵などを上り下りする練習を始め、イチエから離れて動く姿も見られるようになりました。そのようなときイチエは、イチローの姿をそっと近くで見守り、イチローが不安になって『フッフッフ』と声を出すとサッと抱きかかえていました。

飼育担当者より

平川動物公園で初めて誕生したチンパンジーであるイチローは、すくすくと育っています。群れでくらすチンパンジーは、子育ても群れの中で行います。イチローは、今はイチエからあまり離れませんが、群れの大人たちの行動を見て成長していきます。一方でメスの大人たちは、イチエの姿から出産・育児を学び、今後の自分たちの出産・育児に活かされることでしょう。これからイチローが、他のチンパンジーたちとどのような関係を築いていくのか、成長がとても楽しみです。

担当者：小村、森

特集2
イベント実施報告

開園45周年記念
動物総選挙

平川動物公園開園45周年を記念した動物総選挙を開催しました。

メモリアルイヤーを記念して実施されたこの選挙には、飼育員が選出した21種類の動物が肉食、草食、雑食の3部門に分かれ公約を掲げて選挙に出馬しました。平成29年4月1日(土)～5月7日(日)の投票期間中に合計4886票もの投票をしていただきました!皆様ご協力ありがとうございました!

出馬動物一覧

草食部門

キリン/カバ/クロサイ
ブラジルバク/アジアゾウ
トカラヤギ/カイウサギ/コアラ

肉食部門

ホワイトタイガー/ホッキョクグマ
アフリカニシキヘビ/アフリカハゲコウ
フンボルトペンギン/コツメカワウソ

雑食部門

セキショクヤケイ/オランウータン
ワオキツネザル/シシオザル
レッサーパンダ/チンパンジー/マントヒヒ



▲選挙期間中は個性的なポスターが園内を彩りました!

選挙結果!各部門のトップ3!

草食部門

1位:コアラ……465票
2位:キリン……357票
3位:カイウサギ……279票

肉食部門

1位:ホワイトタイガー…713票
2位:フンボルトペンギン…290票
3位:コツメカワウソ…289票

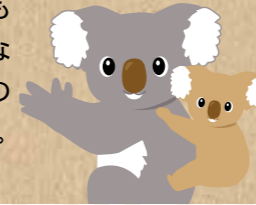
雑食部門

1位:レッサーパンダ…859票
2位:ワオキツネザル…244票
3位:チンパンジー……171票

▲各部門の1位は5月28日(日)に公約実施イベントを開催しました!

公約イベント コアラ

1日20時間も寝て過ごす生活スタイルやガラス越しの展示などから、近くで見ることが難しいコアラですが、「コアラと一緒に写真が撮れる」という選挙公約の実施では、間近でコアラを観察しながら記念撮影をしていただくことができました。初めて近くでコアラを見たお客様も多く、みなさん笑顔で写真に納まっていました。これからもコアラの魅力を余すところなくお伝えしていく予定ですので、応援よろしくお祈りします。



公約イベント ホワイトタイガー

肉食動物部門で1位に輝いたのは大本命のホワイトタイガー。「トラ舎内探検」の公約どおり抽選で選ばれたお客様をトラ舎内へとお招きしました。普段はオリの外から眺めている場所でしたが、中に入ると逆に他のお客様から注目され、なんとも不思議な感覚に。またトラたちが残した糞や、木の幹に生々しく残るツメとぎの跡などを観察でき、トラたちの暮らしぶりをより間近で感じることができました。ホワイトタイガーに投票いただいた皆様、本当にありがとうございました。



公約イベント レッサーパンダ

「全部見せます!体重、エサ、うんちまで」レッサーパンダの全部を大公開しました!レッサーパンダが自分で体重計に乗るトレーニングと担当者による解説からはじまり、展示場外のブースでは実物大で実物と同じ重さのぬいぐるみで大きさや重さを体験。エサのおいしそうなりんごや大量の竹、そしてたっぷり1日分のうんちまで、楽しく見ていただきました。レッサーパンダに投票して下さった皆様、ありがとうございました。



特集3

第9回平川動物公園フォトコンテスト



四季折々の景観や動物たちの生き生きとした姿など、平川動物公園及び隣接する錦江湾公園の魅力を多くの方々に伝えることのできる写真を募集し、第9回平川動物公園フォトコンテストを開催しました。

1 募集のテーマ

募集のテーマは2つ！平川動物公園の動物たちの魅力を写していただく動物部門と平川動物公園と錦江湾公園を一体的に活用するため、平川動物公園だけではなく錦江湾公園でも見られる風景や植物の魅力を写していただく風景部門があります。

【動物部門】

平川動物公園の動物

【風景部門】

平川動物公園で見られる風景
及び錦江湾公園で見られる風景、植物

2 募集期間

平成29年5月1日(月)～平成29年7月3日(月)
※撮影は平成28年7月1日(金)～平成29年6月30日(金)の1年間

3 応募点数等 ()内は昨年度

応募者…………… 98名(113名)
動物部門…………… 162点(207点)
風景部門…………… 63点(58点)
計225点(265点)

4 審査員

南日本新聞社写真部長／竹山 秀司 氏
日本写真作家協会会員／星原 昌一 氏
元平川動物公園園長／酒匂 猛 氏

5 作品

最優秀賞…………… 1点
特別賞…………… 3点
特 選…………… 5点
入 選…………… 10点
佳 作…………… 20点
飼育員賞…………… 2点

6 表彰式の様子

8月11日(金・祝)に入選以上の方を対象に表彰式を行いました。
みなさん本当におめでとうございます。



7 講評 3名の審査員の先生から次のような講評をいただいています！



鹿兒島市長賞
「午睡」
鎌田一誠

鹿兒島市長賞 鎌田一誠様の「午睡」

「今年は動物写真とは思えないような独特な撮影をされた写真が多く、その中で特異な狙いでワニとは見えない面白さがあった。」「斬新な視点でワニの姿をとらえたもっとも目を引く作品。ワニの持つ独特の肌の質感がうまく表現され鋭い眼光も印象的」「ワニの顔をシンメトリックに撮られた構図が大胆で面白いピントもあっていて気持ちがいい。」



南日本新聞社賞
「夕照錦江湾公園」
中川義昭

南日本新聞社賞 中川義昭様の「夕照錦江湾公園」

「良いシャッターチャンスを押さえてあり、ねばりと作者のたまものがこの風景を作り上げています。」「まるで映画のワンシーンのような作品。日没のタイミングを狙って情緒あふれる夕景とバラをうまくマッチさせています。」



公益財団法人鹿兒島市公園公社理事長賞
「おじいちゃんと一緒に」
内田則夫

公益財団法人鹿兒島市公園公社理事長賞
内田則夫様の「おじいちゃんと一緒に」

「背景の桜島の雪化粧が効果的で、南国鹿兒島で雪遊びを楽しむ家族の姿に好感が持てます。」「南国とは思えない光景をとらえた1枚で、おじいさんの幸せそうな顔が想像でき、冠雪した桜島も印象的です。」



平川動物公園長賞
「母子」
鮫島孝

平川動物公園長賞 鮫島孝様の「母子」

「親子の愛情が見た人をほのぼのとさせてくれます。心優しさが表れ、楽しいキツネザル親子の語らいをうまくとらえています。」「キツネザル親子の深い愛情が伝わってくる1枚で、ポーズも表情もほほえましく園内で暮らす動物達の営みを印象する作品です。」

最後に全体的な傾向としては、

「コアラやホワイトタイガーなど「看板スター」はあまり多く出品されていないのは意外な感じがしましたが、かえって多様な動物達の姿を見せてもらった気がしました」

「動物園の写真撮影はどこでも人気で、平川動物公園も老若男女のカメラマンが様々な動物の写真を撮影しています。自分の表現法で撮ろうという努力がすばらしいです。レンズとカメラもですが、カメラマンのセンスが光ります。これからも自分の力を磨いてください。」

「今年は数が少なかったですが工夫して撮られた面白い写真が多く、レベルの高い写真が多かったようです。」

との講評をいただいております。

8 終わりに

今回応募者98名225点ものすばらしい作品を応募していただき誠にありがとうございました。
今回、入賞された皆さまの作品につきましては、平成30年8月までの1年間、どうぶつ学習館にて掲示していますので、ぜひご覧いただければと思います。
また、来年度も平川動物公園フォトコンテストの作品を募集します！
撮影期間は、平成29年7月から平成30年6月いっぱいまでに撮影した写真で平川動物公園か錦江湾公園で撮影したものに限りです。募集期間は、平成30年5月初旬から7月初旬までの予定としております。
募集要項、作品審査の時期等につきましては、「市民のひろば」などの広報紙、平川動物公園ホームページなどでお知らせします。
皆様のご応募お待ちしております！

むぜもんじや：鹿児島弁でかわいいねの意味

バーバリー Sheep (メス1頭)

2017年4月4日生まれ

北アフリカの岩場や砂漠に生息する動物です。ヤギとヒツジの中間的な動物と考えられています。首からお腹の下にかけてタテガミが伸びています。このタテガミは砂嵐などがあつた際、目や鼻などを守るためにあります。オスもメスも立派な角が生えています。

こんな動物

- 偶蹄目ウシ科
- 分布：アフリカ(スーダンやモロッコなど)の岩場や砂漠
- 主食：草、木の葉、果実など草食性

赤ちゃん誕生!!

4月4日の朝、お母さんのミミの出産が近いと判断し、寝室に収容しました。陣痛が始まったのが午前10時頃から隠り出し、午後3時頃に無事2頭の子どもを出産しました！男の子はボンタン、女の子はミカンと名付けました。残念ながらボンタンは生まれつき体が弱く、亡くなってしまいましたが、ミカンはすくすくと成長していきました。



▲左がボンタン、右がミカン



▲角はまだ生えていません

展示場デビュー

生まれて1ヶ月程たち、問題なく成長してきたため、マントヒヒのいる展示場へデビューしました。初めて出た外が楽しいのか走りまわり、体より大きな岩も軽々とジャンプして登り降りしていました。マントヒヒがそばに寄ってきたときはびっくりした様子で逃げてばかりでした。



▲お母さんのそばを離れません



▲マントヒヒにびっくり!!

すくすく成長中!!

生後5ヶ月になり更に大きく成長しています。足がすうりと伸び、角もどんどん大きくなってきています。そして、ついにタテガミが生えてきました。今ではマントヒヒにびっくりすることはなくなり、お母さんからも離れて行動するようになってきました。これからさらに角が大きくなり、タテガミがフサフサになっていくのが楽しみです。



▲のど元にタテガミが!

イベント実施報告

第21回西日本両生爬虫類会議が行われました

西日本両生爬虫類会議は、動物園、水族館の職員などによる、両生類、爬虫類の飼育技術の向上や保全活動を目的とした勉強会で、今回は当園のどうぶつ学習館内で平成29年6月12、13日の2日間開催されました。北は秋田県や福島県から、全国の両生爬虫類に熱い思いを持った22名の方々が参加され、興味深い発表や活発な意見交換が行われました。当園からもカミツキガメにみられた症例の報告と、鹿児島県の両生爬虫類のフィールド報告の2題の発表を行いました。

また、一般財団法人鹿児島県環境技術協会の岡田滋氏には、県内の両生類、爬虫類についての基調講演をしていただき、鹿児島には北限種や南限種が多いことや彼らを保護していくことの重要性について詳しく説明していただきました。

実は、動物公園内にもニホンヤモリやニホントカゲ、スッポンなどの爬虫類やシュレーゲルアオガエルやカジカガエルなど多くの両生類が住んでいます。みなさんも園内で彼らと出会ったら、じっくり観察してみたいと思います。



▲興味深い発表がたくさんありました



▲ゾウガメの体重などを測定しました

テンダーナイトを開催しました

障害のある子どもたちとそのご家族を動物園に招待し、楽しいひとときを過ごしてもらう国際的なイベントである「ドリームナイト・アット・ザ・ズー」の趣旨に賛同し、今年も7月16日(日)にジブラルタ生命保険株式会社の協賛でテンダーナイトを実施しました。今年は81組336名のご家族をご招待し、日頃見られない夜の動物の様子や園内の風景を楽しんでもらいました。

年々参加者も増え、平川動物公園の夏のイベントとして定着させていきたいと思っています。



▲ホワイティがお見送り

青少年のための科学の祭典へ参加しました!

平成29年7月22日、23日に鹿児島市立科学館にて青少年のための科学の祭典が行われました。平川動物公園もブースを出し、たくさんの方に動物園に関する科学について学んでもらいました。今回は「ミッション・ズー・ポッシブル〜感じる動物園〜」と題して子供たちや大人の方と一緒にクイズを楽しみました。動物の写真や鳴き声、標本を触ったり、臭いを嗅いだりと様々な感覚をフルに使った体験型のクイズです。体験の中で、触るのが怖かったり、においが臭かったりするなど子供たちが苦戦する場面もありましたが、どの参加者もあきらめることなく最後まで挑戦してくれました。クイズの最後には、コアラのエサであるユーカリの葉っぱをプレゼントしました。多くの方の笑顔を見ることができ、スタッフ一同とてもうれしく思っています。今後も多くの方に平川動物公園や野生動物について多くのことを発信していきたいと思っています。



▲大勢の子供たちが参加してくれました



▲答えはA?それともそれともB?